

「頑張りすぎは禁物！」

私の友人家族の話。友人（女性）の実家は、友人とその姉が嫁いで以降、父母の2人暮らし。10年ほど前に父の認知症が始まり、「施設に入れるのは可哀そう」と母が一人で頑張って介護をしていました。いわゆる老老介護の状態です。

ところが、10年の歳月は長く、父の症状も進み暴言が出るようになってしまいました。さすがの頑張り屋の母もまいってしまっただようです。

認知症の介護は、家族とはいえ相当大変なようです。介護については、公的支援がありますので、お住まいの地区の地域包括支援センターや市役所の福祉関係窓口にも早めに相談しましょう。

友人の母も、公的支援を受けながらできる範囲で介護をすることになり、落ち着きを取り戻したそうです。(K)